

令和3年度 出前授業実施報告

日 時：令和3年11月15日（月）9時45分～11時25分

場 所：大勝小学校 体育館

対 象：5年生16名2時限目（9時45分～10時30分）

6年生23名3時限目（10時40分～11時25分）

主 催：奄美地区地域自立支援協議会（5市町村）

参加者：生徒39名、教員3名、協議会運営16名 合計58名

奄美地区地域自立支援協議会（以下協議会）は、令和元年度より障害の理解について普及啓発への取り組みの一環として実施しています。今回は龍郷町大勝小学校5年生、6年生の生徒を対象に行いました。見えにくい障害として精神障害の理解を促進することが目的です。心の病気を題材にした絵本や、東京パラリンピックの動画を紹介し、見える障害、見えない障害があること、困ったり悩んでる人が周りにいたら、自分たちにどんなことができるのかな？などを考えました。これまで、宇検村田検小学校、龍郷町龍郷小学校で開催しています。新型コロナウイルス感染症の状況に配慮しながら、今後も各地の小学校で実施する予定です。

内容：絵本の読み聞かせ『そらみみがきこえたひ』

グループにわかれて、見えない（心の病気）障害について意見や感想

●生徒の気づきや感想

【心の病気になったウサギさんが困っていたこと】

・一人でずっと悩んでいる、まわりから変な目でみられる、眠れなくてたいへんそう、人が怖くなりそう、誰も言っていることを信じてくれなくてかわいそう、親にもわかってもらえなくて一人でかかえこんでいる。

・生活がしにくくなって困っている

【自分たちまわりの人ができること】

・やさしく接することができたらいい、やさしい言葉を伝える、どうしたの？と声をかける

・友達だったら相談にのってあげる

・ちゃんと話をきいて理解する

【もし自分がウサギさんだったら】

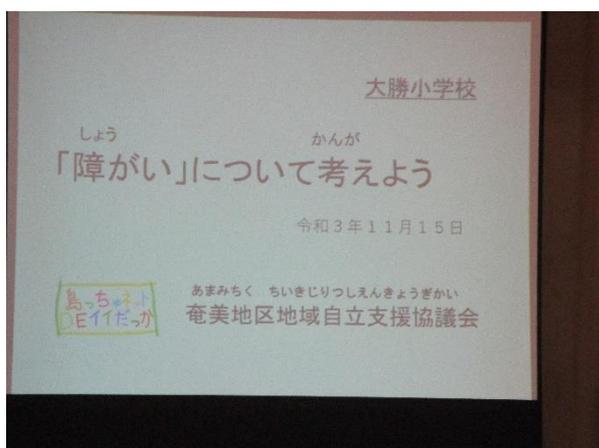
・たすけてほしい、かかえこまず誰かに相談する

【感想】

- ・こんな病気があることをはじめて知った
- ・もし、自分の知っている人が空耳が聞こえると言ったら、病院でみてもらったらって言う。
- ・友達がそういうふうになったら心配しちゃう
- ・一人で考え込まないでお母さんに相談したことがよかった
- ・人が困っていたら助けてあげたい

出前授業の様子

(5年生)



(6年生)

